

2025年8月8日

防衛大臣 中谷元様

百里基地司令 鈴木繁直様

百里基地所属F2戦闘機の墜落事故に抗議する

航空自衛隊百里基地所属のF2戦闘機が「8月7日午後0時半ごろ、航空自衛隊のF2戦闘機1機が訓練飛行中、同基地の北東約150キロの太平洋上に墜落した。搭乗していたパイロット1人は緊急脱出し、海上で救難ヘリコプターに救助された。命に別条はない」と報道されています。そして「墜落時の状況から、離陸後、機体にトラブルが発生した可能性がある」と指摘されています。今後、F2戦闘機を引きあげ、フライトレコーダーの回収で事故原因の徹底解明を行い、それらのすべてを公表し納得を得ることが必要です。

小美玉市にある航空自衛隊百里基地は、県都水戸市や原子力関連施設が多数ある大洗町や東海村上空も訓練空域としています。今回の墜落事故は、一步間違えば、多数の住民の命が奪われる大惨事となるばかりではなく、東海第二原発や原子力関連施設を直撃すれば想像を絶する被害をもたらします。そのような事態になれば首都東京も甚大な影響を受け、日本の中枢が麻痺し、政治も経済も混乱を極めます。

また墜落した海域は、漁船やタンカー等の航路でもあり、人命が失われたことは本当に幸甚だったとしか言いようがありません。今回は、茨城空港の運航に影響はなかったという報道ですが、民間機との接触事故なども心配されます。

百里基地での訓練は毎年のように激しさを増しており、在日米軍ばかりでなくイギリス、フランス、ドイツ、オーストラリア、インド空軍などとも合同訓練を実施しており、墜落事故等の危険が高まっています。

以下要請します。

記

- 一、当面、F2戦闘機の飛行を中止すること。
- 二、事故の原因究明・再発防止策を明らかにし、関係団体・周辺自治体と住民に説明会を開催して納得を得ること。
- 三、原因と再発防止策を明らかにし、自治体・住民へ説明し、住民の納得が得られるまで、同機の訓練・飛行は行わないこと
- 四、原子力関連施設の上空は絶対に飛行しないこと。
- 五、事故の危険性が常にある日米合同訓練等は停止すること。

百里基地反対連絡協議会（百里基地反対同盟 百里弁護団 茨城県平和委員会 茨城平和擁護県民会議 農民運動茨城県連合会 社民党茨城県連合 日本共産党茨城県委員会 新社会党茨城県本部）